

「森と自然の育ちと学びフォーラム2026in ひろしま」開催要領

1 趣旨

自然を活用した保育・幼児教育の取り組みを発展させるため、全国の加盟自治体・関係者の他、自然保育に関係する関係者、自然保育に関心のある方などの交流や、学び合いの交流の場とすることを目的としてフォーラムを開催する。

2 主催

森と自然の育ちと学び自治体ネットワーク（事務局 広島県健康福祉局安心保育推進課）

3 後援

日本自然保育学会、ひろしま自然保育推進協議会、広島県私立幼稚園連盟、広島県保育連盟連合会、広島市私立保育協会

4 開催日時

1日目 令和8年11月19日（木） 13時00分～17時00分
（受付時間 12時30分～）

広島県庁本館6階講堂（広島市中区基町 10-52）【定員：150人程度】

※県庁敷地内駐車場について

- ・すべてコインパーキングのため、駐車場料金が必要です。
- ・台数に限りがあるため、できるだけ公共交通機関をご利用ください。

2日目 令和8年11月20日（金） 9時30分～12時00分

【定員：各コース30人程度】

1コース こばと幼稚園（安芸郡府中町茂1-2-10）

2コース 宮島こども園（廿日市市宮島町 779-5）

3コース かえで幼稚園（廿日市市刈薮山2-9-13）

※全コース現地集合です。

※駐車場の確保は有りませんので、公共交通機関をご利用ください。

5 対象者

自治体ネットワーク加盟の職員、保育・幼児教育関係者、自然保育に関心のある方等

6 参加費

無料

7 参加申込

URL（広島県ホームページ）に掲載している申込フォームよりお申込みください。

<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/soshiki/244/jichitainetwork.html>

【申込期限】令和8年10月23日（金）

※2日間参加・1日目のみ参加・2日目のみ参加のいずれも申込を受け付けます。

※両日、定員になり次第、申込を締め切りますのでご了承ください。

※2日目は、見学を希望する園を選択してください。希望が多い場合は、調整させていただきます。なお、2日目の参加は、基本的には2日間参加を希望された方から優先します。

8 お問い合わせ

森と自然の育ちと学び自治体ネットワーク事務局

（広島県健康福祉局安心保育推進課 担当：山竹、宮地）

電話 （082）513-3174

メールアドレス fuhoiku@pref.hiroshima.lg.jp

9 内容 1 日目

時間	内容
13:00～13:05	開会 主催県 あいさつ
13:05～13:10	スケジュール説明 事務局
13:10～14:00	森と自然の育ちと学びを推進する県外の事例発表 (1) 千葉県「県内の自然保育環境について」(13:10～13:30) 健康福祉部子育て支援課 主事 保科 成則 氏 (2) 滋賀県東近江市「里山保育について」(13:30～13:50) 環境部森と水政策課 副主幹 辻 都 氏 (3) 質疑応答(13:50～14:00)
14:00～14:10	休憩
14:10～15:50	自然保育講座 (1)「自然保育とこどもの発達」(14:10～14:55) NPO 法人森のようちえん 全国ネットワーク連盟理事長 小林 成親 氏 (2)「自然保育とリスクマネジメント」(14:55～15:40) 森のようちえんウィズ・ナチュラ代表 岡本 麻友子 氏 (3) 質疑応答(15:40～15:50)
15:50～16:00	休憩
16:00～16:45	パネル展 「多様な自然保育の実践から学びあいましょう！」 パネル展示施設との意見交換会
16:45～16:55	全体総括 ひろしま自然保育推進協議会会長 広島文教大学 名誉教授 杉山 浩之 氏
16:55～17:00	閉会 あいさつ 広島県健康福祉局安心保育推進課

〈自然保育講座講師紹介〉



2005年4月、長野県伊那市で「自然の中でのびのびと子供たちを育みたい」との母親たちの願いにより、保育士、保護者、地域が一体となって子供の育ちを見守り、一緒に楽しみ、共に喜びを分かち合う場として「山の遊び舎はらぺこ」をスタート

2023年に「NPO法人山の遊び舎」を設立後、2026年に「認定こども園山の遊び舎はらぺこ」へと移行し、現在も園長を務めている。

また、2023年より「NPO法人森のようちえん全国ネットワーク連盟」理事等に就任。全国各地の森のようちえんや自然保育の実践者を牽引し、自然の中での子供の豊かな育ちと、保育・教育環境の質の向上を目指し普及・啓発や研修講師を行っている。



2010年、奈良県で「森のようちえんウィズ・ナチュラ」を開園。豊かな自然環境の中で子供たちの主体性を重視した自然保育を実践するほか、キャンプ場や里山を学びのフィールドとし、年齢を越えた少人数での活動を通じて五感を使った学びを提供している。

また、“お米で繋がる自然な暮らし”をコンセプトに、コミュニティカフェ「自然な暮らし commu+cafe コリコック」を保護者と運営し、地域とつながる子育て支援活動を展開している。

現在は2023年より「NPO法人森のようちえん全国ネットワーク連盟」副理事長に就任し、全国で自然保育の魅力や子育て・保育のかかわり方についての、講演・普及活動を行っている。

パネル展施設紹介

施設名：認定こども園さざなみの森

所在地：東広島市西条町

テーマ：「幼児期の原体験、原風景と里山の暮らし」

発表者：園長 高田 憲治氏

園の特徴

1. 立地場所－ふさわしい場所

1979年、幼稚園として開園するにあたり、幼児期の子どもたちが就学期までを過ごし、育つ場所としてどのような空間が望ましい・ふさわしいのか、その場所選びが最初の大切な仕事でした。都市部、住宅街から少し離れていても、森があり、川が流れ、田園風景が広がり、里山の暮らしが残る東広島市西条町寺家、板橋谷地区に園地をもとめました。起伏のある森を園庭とし、その森に溶け込むような園舎を現理事長自ら設計し、さざなみの物語が幕を開けました。



八本松や西条の中心部からはおよそ2kmほど離れた里山のエッジ。平地林の残る緩やかな起伏のある園地。

2. 保育の内容－保育者が子どもへ から 子どもと共に へ

開園当初は、子どもたちに経験させたいという大人の願いを形にする保育を展開してきましたが、身近な自然や農の業（わざ）にふれる体験を重ねるうち、子どもと共に、季節の移ろいを感じ、地域の方々との交わりを深め、この里山の風景や暮らし、田んぼや畑、染めや梅仕込みなど、季節ごとの営みを伝承しつつ、自然と人と対話しながら遊びや暮らしを創り出すことを保育の内容として物語を紡いできました。



3. これからのさざなみの森－0～5歳児の園（その）から、地域の園（その）へ

幼稚園として歩みを重ねてきた本園は、2011年より0～5歳児のこども園となり、その後も出生数、待機児童が右肩あがりの地域の事情を背景に300人規模の園となりました。しかし、ここにきて人口増加もようやくピークアウトし、与えられている資源、園内外の人的・物的環境にとって適正な規模感、年齢構成を捉え直し、持続可能な園のありように思いを巡らせ、物語の次章を編むべき時を迎えています。

森の木々や傾斜をそのまま残した園庭は、47年の時を経て、あちこちに不可逆な、自然ならではの姿容を見せてくれます。斜面は風雨や子どもの移動で崩れ、ナラやマツの立枯れもあり、



自然との対話、いのちの循環する園庭を目指す取り組みの実践報告 →

人工物ではないからこそ課題やリスクもあります。自然との対話をより丁寧に重ねていく必要を強く感じています。

また、里山を引き継ぐ次世代の問題もある中で、より一層、地域に開かれた園、地域に必要とされる園、地域の課題を共に背負う園として、子どもを真ん中に、大人や地域が学び、育つ場でありたいと願っているところです。



施設名：森のようちえん まめとっこ
所在地：広島市安佐南区
テーマ：

「でこぼこ、だけど、それが完璧」と言える社会へ
～「べき・ねば」を超え、スタッフと親が共有する『共同の心構え』が拓く保育の質
～」

発表者：代表 石井 千穂氏
園の特徴

0歳	0人	クラス	1歳	0人	クラス	2歳	0人	クラス
3歳	2人	クラス	4歳	1人	クラス	5歳	5人	クラス

広島市安佐南区大塚・伴地区の里山や自然公園で活動している、森のようちえん（認可外保育施設）です。

おさんぽ（自由遊び）を中心に、こどもたち自身が味噌汁と釜炊きごはんをつくる野外料理やにじみ絵などのてしごとも行っており、心身をバランスよく育てます。

スタッフと保護者が心と力を寄せ合って運営・保育をつくる、共同保育というかたちをとっています。

アピールポイント

晴れても降っても、春も夏も秋も冬も。

子どもたちは毎日、森や里山、沢や野原で仲間とたったり遊びます。

遊ぶことは学ぶこと、生きること。

「やりたい！」を出発点に、自分で感じ、考え、判断し、行動する毎日を積み重ねながら、人とのつながりや自然とのつながりの中で、自分らしく生きる根っこの力を育てています。

自然保育の価値は、森にあるのでしょうか。

私たちは、森を通して「子どもを見るまなざし」を育てています。

「べき・ねば」を手放し、スタッフと保護者が「共同の心構え」を共有することで、家庭と園が連続した育ちの場となります。子どもは安心して遊び、自ら育つ力を発揮し、一人ひとりの違いがその子らしさとして尊重されます。

そのまなざしは、大人自身が自分を認めることにもつながり、やがて地域全体に、多様性を認め合い、対話しながら育ち合う文化を育てていきます。

人との違いを認め、自分らしく生き、ともに考え、育ち合う。こうした力は、予測困難で正解のない時代を生きる子どもたちに欠かせない力です。私たちは、その力を育てることこそが、自然保育が未来の社会に果たす役割だと考えています。

15年間の共同保育の実践から、自然保育が子ども・大人・地域、そして社会にもたらす価値をお伝えします。

施設名：三次市十日市保育所・三次市愛光保育所・三次市東光保育所

所在地：三次市

テーマ：

「ビビビ！微生物電気 ～コンポストの「あったかい」から始まる不思議な循環保育～」

発表者：(株)小学館アカデミー 西日本施設支援課 課長 河村 裕子氏

園児数：

十日市保育所

0歳	7人	1クラス	1歳	17人	1クラス	2歳	20人	1クラス
3歳	23人	1クラス	4歳	23人	1クラス	5歳	20人	1クラス

愛光保育所

0歳	6人	1クラス	1歳	14人	1クラス	2歳	14人	1クラス
3歳	22人	1クラス	4歳	24人	1クラス	5歳	22人	1クラス

東光保育所

0歳	9人	1クラス	1歳	16人	1クラス	2歳	17人	1クラス
3歳	28人	2クラス	4歳	30人	1クラス	5歳	20人	1クラス

【園の特徴】

三次市内に小学館アカデミーが公設民営で運営する3つの保育所があります。広い園庭の中で子どもたちはのびのびと過ごしています。近隣には、鶺鴒で有名な馬洗川や、四季折々の自然が楽しめる尾関山公園、県立みよし公園など、豊かな自然に囲まれた環境の中で、豊かな感性や思いやりの心を育てています。

【当日のご紹介の内容】

日々の私たちの取り組みの歩みはもちろんですが、来場される先生方の園でも取り組める活動のご紹介、そしてビビビ！体験もぜひ楽しんでください。

三次市十日市保育所



園庭には色とりどりの葉っぱや、木の实などがあり、季節を感じています。



近くの公園では虫探しや、芝滑り♪



微生物の働きによって発電し鳴るオルゴール。



畑で間引いた野菜の苗をお家の方へもプレゼントしています。



菜園活動を通して、収穫した種を再び植えて育てる「循環する菜園活動」を大切にしています。



三次市愛光保育所



段ボールコンポストを作成。微生物が枯れ葉を分解してできる腐葉土を作っています。給食調理後に出た調理くずなどを入れてたい肥にしています。

自然物を使った制作を楽しんでいます。



近くの尾関山には自然がいっぱい!!春は桜、秋は紅葉。四季を感じられる子どもたちの大好きなスポットです。



ペットボトルで朝顔栽培。



泥遊びは子どもたちの最高の学びの場!!

三次市東光保育所



調理くずを微生物の働きを活用して発酵・分解させ、たい肥を作るコンポストに取り組んでいます。

コンポストのたい肥を活用した園庭の畑。豊かな土壌で育まれた野菜がたくさん収穫でき、菜園活動が活発です。



園庭にはたくさんの遊具があり、全て木を使用しています。保護者の方と一緒に作った築山も自然なぬくもりがあり、子どもたちのお気に入りの場所になっています。

芝滑りもおもいきりできます♪

施設名：東広島市 公立全23園

所在地：東広島市

テーマ：「自然保育推進アドバイザーと創る 公立保育所の自然保育
～大人も子どもも とことんあそび 豊かに育つ～」

発表者：東広島市保育課 乳幼児教育・保育担当課長 村瀬 文女氏
専門員 坂田 晶子

園児数：令和8年4月1日現在

中黒瀬保育所

0歳	5人	クラス	1歳	17人	クラス	2歳	22人	クラス
3歳	21人	クラス	4歳	19人	クラス	5歳	19人	クラス

三津保育所

0歳	0人	クラス	1歳	6人	クラス	2歳	2人	クラス
3歳	8人	クラス	4歳	8人	クラス	5歳	13人	クラス

暁保育所

0歳	0人	クラス	1歳	8人	クラス	2歳	10人	クラス
3歳	8人	クラス	4歳	10人	クラス	5歳	15人	クラス

志和堀保育所

0歳	0人	クラス	1歳	2人	クラス	2歳	0人	クラス
3歳	4人	クラス	4歳	3人	クラス	5歳	2人	クラス

乃美尾保育所

0歳	3人	クラス	1歳	5人	クラス	2歳	2人	クラス
3歳	5人	クラス	4歳	5人	クラス	5歳	3人	クラス

河内西保育所

0歳	0人	クラス	1歳	2人	クラス	2歳	4人	クラス
3歳	2人	クラス	4歳	7人	クラス	5歳	3人	クラス

上黒瀬保育所

0歳	3人	クラス	1歳	6人	クラス	2歳	4人	クラス
3歳	6人	クラス	4歳	11人	クラス	5歳	6人	クラス

認定こども園だけに

0歳	0人	クラス	1歳	1人	クラス	2歳	3人	クラス
3歳	1人	クラス	4歳	3人	クラス	5歳	7人	クラス

園の特徴

東広島市の公立保育所では、子どもが主体的に遊びや生活に取り組むことを大切にし、「感じる力」「考える力」「人とのかかわる力」などの“5つの力”を育む保育を行っています。現在、自然保育認証を受けている園・所が8か所あり、豊かな自然環境の中で四季の変化を感じながら戸外活動を楽しみ、野菜の栽培や収穫などの食育活動も充実しています。また、子どもたちの安心・安全を考えた園庭環境の整備にも力を入れるとともに、地域の人々との交流や小学校との連携を通して、人とのつながりを大切にしながら、心豊かでたくましく生きる力を育んでいます。

アピールポイント



施設名：育ちの森保育園

所在地：広島市中区

テーマ：『0歳からの自然保育』～自然の中で生きる力は育つ～

発表者：保育士 野崎 千夏氏

園の特徴

「さくらさくらんぼ保育に魅せられて」 育ちの森保育園 園長 隅田さちえ

昭和59年、今から40年前に埼玉県深谷市のさくらさくらんぼ保育園を訪れました。

見渡す限りの広い園庭には柵はなく、子どもたちが自由にどこでも遊びに行くことができ、散歩に出れば、近くには畑があり、丘があり、川があり、すべての子どもたちのあそび場です。

冬の厳しい寒さの中も裸足で子どもたちは遊びまわり、0歳児はハイハイができる時から自分で芝生の上で過ごしていました。私たちには望むことができない素晴らしい環境がそこにはありました。

子どもが子どもらしく、集団生活を過ごし、周りの大人に気をつかうことなく、土の上を裸足で走り回り、喧嘩をし泣き、笑う姿。

子ども達の瞳の真剣な輝き。

写真集「人が人間になる」には、さくらさくらんぼ保育の365日の生き生きとした子どもたちの様子が掲載されています。いつの日か、さくらさくらんぼ保育が再び輝く日を夢見て。



わたしたちが大切にしていること

「こどもらに土と緑と太陽を」

友だちと一緒に生活を楽しみながら、江波山の豊かな自然の中で過ごします。0歳から5歳までの年齢の子どもは、自然の一部です。子どもたちの健やかな成長には自然の環境が大切です。毎日、土と緑に触れ、太陽をいっぱい浴びて、保育に取り組みます。子どもと共に保護者も職員も育ち合い、地域の子育てを支援し地域に愛される保育園をめざします。

「生きる力を育てる」

指先の刺激や皮膚感覚の刺激は、脳に伝わり発達を促します。子どもの脳の発達の為には、自然との触れ合いが一番です。形を変える水・砂・泥は最高の遊び道具です。子どもたちは、発達に応じた環境の中で、水・泥で思いきり遊び込みます。

「食べることは生きること」

素材そのものの味わいが分かる薄味で、和食の味を大切に、地産地消の食材を使い、おやつも手作りで提供します。

「子どもも大人も共に育ちあう」

子どもを真ん中にして、保育士と保護者、周りの大人が共に関わっていきながら子どもの成長を見守っていきます。



園 名：安芸太田町 公立4園

(加計認定こども園あさひ・認定こども園とごうち・修道保育所・筒賀保育所)

所在地：安芸太田町

テーマ：「もりみん山のこども園～こもれびの森ひみつきち～

(安芸太田町自然保育の取組)」

発表者：加計認定こども園あさひ	園長	二見	裕美	氏
認定こども園とごうち	園長	矢立	秀子	氏
修道保育所	所長	齊藤	寛子	氏
筒賀保育所	所長	沖野	志保	氏
安芸太田町教育委員会教育課	主査	園田	哲也	氏

園児数：(令和8年7月31日現在)

加計認定こども園あさひ

0歳	0人	クラス	1歳	4人	クラス	2歳	8人	クラス
3歳	2人	クラス	4歳	3人	クラス	5歳	5人	クラス

認定こども園とごうち

0歳	2人	クラス	1歳	5人	クラス	2歳	2人	クラス
3歳	6人	クラス	4歳	9人	クラス	5歳	7人	クラス

修道保育所

0歳	0人	クラス	1歳	0人	クラス	2歳	3人	クラス
3歳	0人	クラス	4歳	0人	クラス	5歳	0人	クラス

筒賀保育所

0歳	1人	クラス	1歳	1人	クラス	2歳	0人	クラス
3歳	1人	クラス	4歳	2人	クラス	5歳	2人	クラス

【安芸太田町の特徴】

安芸太田町は、広島市の北西部に位置し、人口5,000人余りの広島県で一番人口の少ない町です。

本町の保育所及び認定こども園は全て公立で、さらに全園所において「ひろしま自然保育認証」の認証団体です。季節を通じて地域の環境を活用し、自然を生かした幼児期の保育・教育活動に積極的に取り組んでいます。

そのため、町内どの園所でも自然保育の体験ができ、地域の特色あるフィールドで様々な園外保育を実施しています。

私たちの町 “加計”の春夏秋冬

ふるさと大好き 加計を歩く！

～ふるさとでの遊びを原体験に～

園周辺2km以内にある公園等を拠点とし散策・体験活動。その日の拠点で昼食(給食弁当)を。身近な自然・四季の移ろいを肌で感じつづくとにかく歩く。自分たちが暮らす地域を知り好きになる。



園庭で雪・氷遊び



1年生と

月ヶ瀬公園



高校生と

園の畑で



カファームOKI

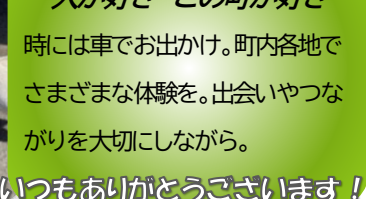


見浦牧場

地域のみなさん、



小中高校生さんいつもありがとうございます！



地域とともに
～人が好き この町が好き～
時には車でお出かけ。町内各地で
さまざまな体験を。出会いやつな
がりを大切にしながら。



見入ヶ崎スポーツ広場

月ヶ瀬公園(丁川)



田植え

温井ダム



深山峡



【認定こども園とごうち】

四季折々の自然体験や地域住民との多世代交流、そして日常の遊びや行事等を通じて子どもが自ら選択し、「できた」という実績の積み重ねとその「過程」を大切にしています。地域全体を「遊び・学びの場」とし、互いに高め合い、子どもたちの「やってみたい」が実現できる環境を整えることを目標に取り組んでいます。



大好きなフィールドでの
自然体験



地域の方との交流を
交えながらの自然体験



同じ場所に訪れ遊びを楽しむ中で、生き物に触れ命の大切さを知る機会にも。生き物を捕まえないという思いから、身近な素材を使って工夫して作り、試して遊んだことがまた次の遊びへ繋がっていく。やったけど上手くいかなかった、思い通りにいかない経験が次への遊びの原動力に。

【修道保育所】

小規模保育所特性を生かし一人ひとりに寄り添った保育と、地域全体を学びの場とした「地域連携」と「自然保育」を実践し、子ども達が安心して地域の中で成長できる環境づくりを大切にしています。



わたしは、ちょっと
苦手かも。

おばあちゃんと一緒
に行こうね。



酸っぱいけどおいしいね。



地域の方に温かく見守られ、日々声をかけていただきながら、安心できる環境の中でのびのびと育っています。

その時季だからこそできる本物の自然体験。畑や田んぼで『育てる・収穫する・食べる』を経験し、地域の方との関わりの中で、生きる力と自ら考え行動する力を育んでいます。

【筒賀保育所】

四季折々の自然の中で川遊びや散歩、虫探しや雪遊びなど本物の自然に触れながら遊びます。自然の中で五感を使い、命の大切さや考える力、挑戦する心を遊びを通して育んでいます。

また、小学校に隣接した環境を生かし、日頃から小学生との交流を行っています。自然保育を通して保育所は『遊び』、小学生は生活科などを通して『学び』となり自然な交流が生まれ、継続的な遊び・学びが続いていきます。



危ないよ
ぼくの手につかまって



小学生と一緒に、
生き物探しに夢中！



小学生は、保育園児にとって頼りになるお兄さん・お姉さんです。自然の中で遊び方や生き物の見つけ方を優しく教えてもらったり、困った時に手を差し伸べてもらったりすることで、憧れへの気持ちを持ち、就学への期待が膨らみます。

川や、山、森など自然が豊富！子どもたちの「やってみたい！」「楽しい！」が必ず見つかる場所、それが「筒賀」です。

《2日目》自然保育参観（フィールド視察）

○申込では、次の3コースの中から第1希望、第2希望を選んで記載してください。

※ 集合時間に遅れた場合等については、参観園へ直接お越しください。

《視察園紹介》

1 コース

○こばと幼稚園

場所：安芸郡府中町茂陰1-2-10

集合場所：JR山陽本線の天神川駅東口 デイリーヤマザキ前

集合時間：9時

連絡先：☎（082）281-1520

園長：児玉 美智子

当日説明者：園長・渡・西原

【園の特徴】

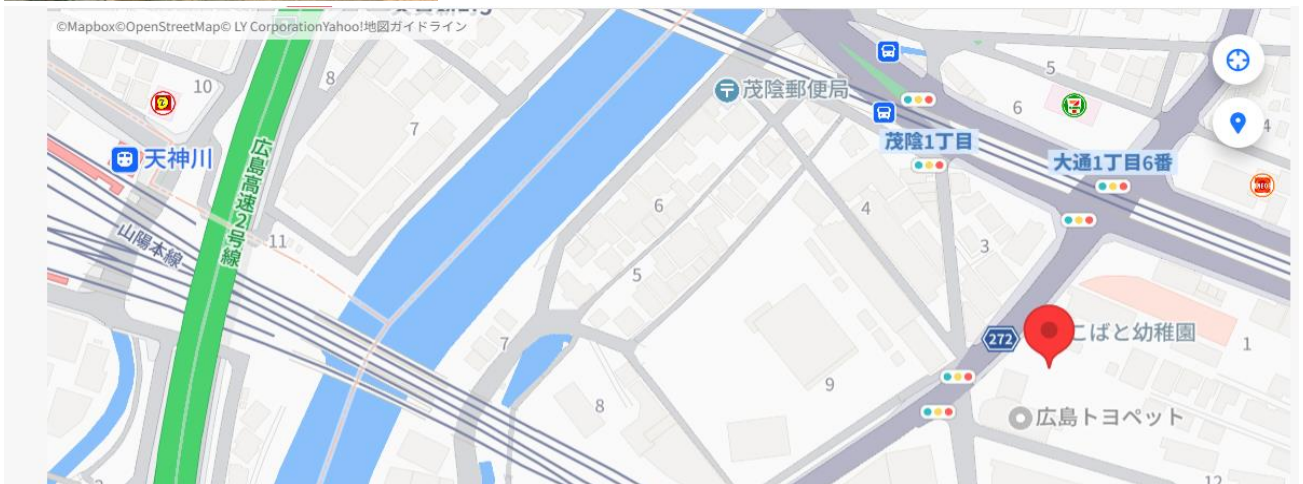
本園は街中にある幼稚園ですが、キリスト教保育と平和教育を二本の柱に、「心を育む教育」を大切にしています。

子どもを中心とした保育を目指し、保育者同士で何度も話し合いを重ねながら保育環境の見直しを進めてきました。その一環として総合遊具を撤去し、園庭を自然豊かな園庭づくりを進めています。

昨年6月末には、「ひろしま自然保育資質向上研修会」の会場として、当園の園庭が活用されました。出原大先生を講師にお迎えをし、研修参加者約80名の皆様の協力のもと、築山造成と植栽を行い、子どもたちが自然の中で主体的に遊び、学べる環境が整いました。

現在では、築山や草花、木々に囲まれた園庭で、子どもたちは花を摘んだり、虫を探したり、季節の移ろいを五感で感じながら遊んでいます。自然の中で小さな命と出会い、不思議に気づき、発見する喜びを味わっています。また、園外へ出かけて川や山、公園などで自然に触れる体験も積極的に取り入れ、豊かな自然との出会いを通して探究心や挑戦する気持ちを育てています。

私たちは、子ども一人ひとりの「やってみたい」という思いを大切に受け止め、子どもたちが自ら感じ、考え、挑戦する経験を積み重ねられるよう保育を行っています。自然の中で子どもも保育者も共に学び、共に育ちあえることが、本園の大きな魅力です。



2コース

○宮島こども園

場所：廿日市市宮島町779-5

集合場所：宮島口（本土側）から乗船、宮島側のフェリーターミナル出口

集合時間：9時

連絡先：☎（0829）44-2515

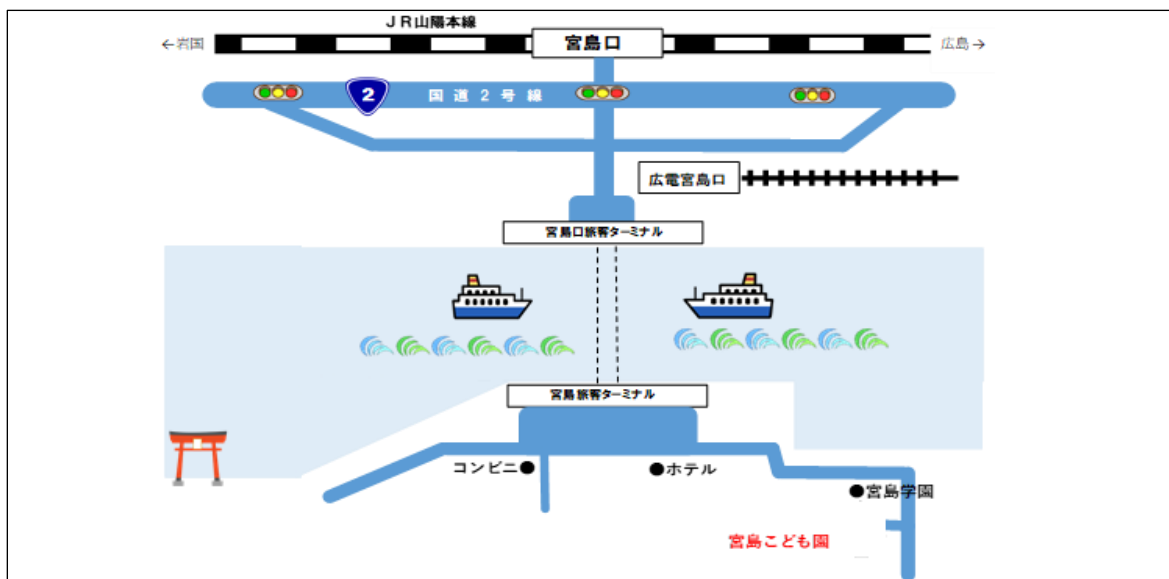
園長：田中聖也

当日説明者：田中聖也、石川こす恵

【園の特徴】

世界遺産・宮島の麓に位置する当園は、海・山・川、そして歴史的な町並みを日々の活動フィールドとする“まちと自然にひらかれたこども園”です。子どもたちは広い園庭や隣接する森へ自由に出かけ、季節の変化を全身で感じながら遊び込みます。

子どもの「やってみたい」を尊重し、環境にひらかれた保育を大切にしている当園では、川での探究、山での発見、海辺での挑戦、まちでの出会いが日常に息づいています。多様な環境と出会いの積み重ねが、子どもの主体性と生きる力を豊かに育んでいます。



3コース

〇かえで幼稚園

場所：廿日市市対巖山2-9-13

集合場所：JR山陽本線の宮島口駅前

集合時間：9時

連絡先：☎（0829）56-2280

園長：中丸 創

当日説明者：中丸 創、中丸 元良

【園の特徴】

宮島の対岸の山を造成した住宅街の一角にある幼稚園です。

自然環境としては、高台に位置しているため風を感じやすいこと、また園庭に木登りのできる木や実のなる木があること、さらに裏には造成されていない森があり、遊び場として活用していることなどが挙げられます。

また、広い園庭を活かして田畑を子どもたちとともに作っています。

こうした環境に囲まれながら、遊ぶ時間をしっかり取って子どもたちが自ら遊びを作り出し、自らを発見していくことを大切にしています。

